

産業建設委員会・分科会

質 能代市工場立地法準則条例によって対象区域内に特定工場を新設等する場合における緑地及び環境施設の面積要件が緩和されるが、当該用地は事業者が購入して確保する必要があるのか。

答 事業者が購入するほか、個人や会社の私有地を借りて確保することも可能である。

質 東能代中学校跡地内の道路整備の理由は。

答 当該地の北東側は、社会福祉法人能代ふくし会により能代地域生活支援センターの建設が進められており、西側は、市で活用を検討していることから、地域住民の今後の利便性を図るため、その間に道路を整備したものである。

質 農業夢プラン事業費補助金に関して、当初予算額に対して5倍の額を追加する理由は。

答 本事業は県との協調助成で実施しており、県の予算の関係で今年度に前倒しして実施する事が可能となったため、来年度の事業実施希望者の中から、対応可能な農家分を追加しようとするもので、前年度も同様に前倒しして実施したことにより、今年度の希望者が減ったため、当初予算では計上額が少なかった。

質 長期影響継続事業者支援金支給費の追加補正の概要は。

答 法人及び個人事業者については、支給要件のうち、平均事業収入額の減少期間を7月から12月までに変えて引き続き支援し、また、コンベンション施設運営事業者については従前の支給に加え、令和3年中の平均事業収入額の減少割合が50%以上の事業者に対し、施設面積1平方メートル当たり1万円を追加助成するものである。

(伊藤洋文)



産業建設委員会・分科会の様子

議会基本条例策定 特別委員会

12月13日に開催された委員会では、パブリックコメント及び議会報告会で市民から寄せられた意見に対する対応について検討を行った。

パブリックコメントの意見について

10月11日から11月10日までパブリックコメントを実施した結果、2名の方から計5件の意見が提出された。この意見の対応について協議した。**協議結果** これらの意見に対する回答を委員会として集約するため、今回各会派から出された意見を持ち帰り、引き続き検討することとした。

議会報告会の意見について

11月26日に開催した議会報告会で3名の方から計5件の意見が出された。この意見の対応について協議した。**協議結果** 意見等が議会基本条例案に直接関わらない意見、または関連の質問や意見については議会報告会の場で返答したことから、その内容を委員で共有し、パブリックコメントに対する回答をする際に、それらの意見を紹介する形で対応することとした。

(落合範良)

議会改革調査 特別委員会

◆10月18日の委員会では、前回の協議結果に基づき具体的な検討を行った。

議員定数について

意見 委員会数を減らすことは、専門性を損なう。委員はおおむね7人必要であることから定数は20人とする。

意見 19人が18人で検討してほしい。

協議結果 常任委員会数は3つとし、定数について引き続き検討することとした。

政治倫理の確立について

意見 第6条、審査会の委員数は10人以上と規定されていることから、現行のままよい。

協議結果 審査会の委員数は現行どおりとした。

◆11月16日の委員会では、前回の協議結果に基づき具体的な検討を行った。

議員定数について

意見 12月で結論を出すに当たり、全会一致に向けた議論が大事である。

タブレット端末の活用について

協議結果 事務の効率化のほかオンライン会議など、活用の多様化が進んでおり、導入する上で、克服すべ